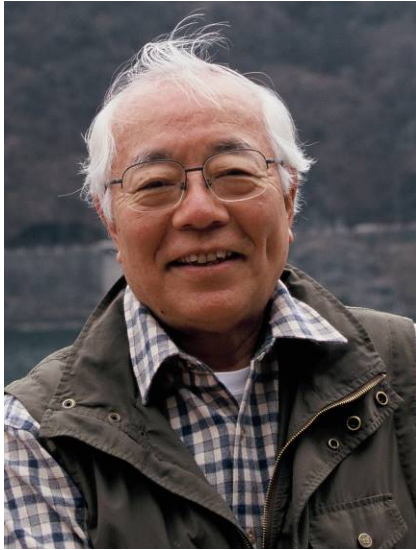


— 語りベ プロフィール —



講演題目：日本文明とエネルギー

-既存ダム活用による水力発電-

語りベ：竹村 公太郎（たけむら こうたろう）

特定非営利活動法人 日本水フォーラム代表理事・事務局長

1945年生まれ。1968年東北大学工学部土木工学科卒、1970年修士修了後、建設省に入省。宮ヶ瀬ダム工事事務所、中部地方建設局河川部長、河川局開発課長、近畿地方建設局長を経て国土交通省河川局長。2002年に退官後、リバーフロント研究所代表理事などを歴任し、2014年より現職。

（著書）

- ・「日本文明の謎を解く」（清流出版 2003年）
- ・「土地の文明」（PHP研究所 2005年）
- ・「幸運な文明」（PHP研究所 2007年）
- ・「小水力エネルギー読本」（オーム社：共著 2006年）
- ・「本質を見抜く力」（PHP新書 2008年）
- ・「水力発電が日本を救う」（東洋経済新報社）など多数。



話題提供：データ統融合が切り拓く既存ダムの効率的

活用支援と途上国でのダム建設の意思決定支援

語りベ：川崎 昭如（かわさき あきゆき）

東京大学 社会基盤学専攻 特任准教授

横浜国立大学工学部建築学コース卒、同大学院工学研究科人工環境システム学専攻を修了後、同大学院環境情報研究院、国連大学、ハーバード大学、アジア工科大学、東京大学生産技術研究所、同大学地球観測データ統融合連携研究機構(EDITORIA)を経て、現職。

（関連論文）

- ・ 不確実性を考慮した国際河川の提携支援ツールの開発—メコン川における水力発電施設開発を対象に。水文・水資源学会誌, 30(3), 149-160, 2017.
- ・ A cooperative game analysis of transboundary hydropower development in the Lower Mekong: Case of the 3S Sub-basins. Water Resources Management, 28(11), 3417-3437, 2014.
- ・ Assessment of climate change impact on reservoir inflows using multi climate-models under RCPs—The case of Mangla Dam in Pakistan. Water, 8(9), 389-416.